

ひこねっこ 学びの6か条

い

いっぱい本^{ほん}を読もう^よ
本^{ほん}は心^{こころ}の栄養^{えいよう}・知識^{ちしき}の宝庫^{ほうこ}

い

いい汗^{あせ}かいて役立^{やくだ}とう
家族^{かぞく}のために、地域^{ちいき}のために

な

なぜだ^ならう、や^やってみよう
好奇心^{こうきしん}は学^{まな}ぶ意欲^{いよく}のみなもと

お

おはよう、あ^ありがとう
あいさつ^{あいさつ}で人^{ひと}と人^{ひと}とのつな^{つな}がり^{がり}を

す

ス^そポーツや外遊^{あそ}びをしよう
元^{げん}気な体^{からだ}づくり、心^{こころ}づくり

け

け^けじめある生^{せい}活^{かつ}をしよう
早^{はや}ね 早^{はや}おき 朝^{あさ}ごはん



井伊直弼（いいなおすけ）について

江戸時代^{えどじだい}に、日本^{にほん}の未来^{みらい}を考^{かんが}え、命^{いのち}をかけて働^{はたら}いた彦根^{ひこね}の殿様^{とのさま}です。
直弼公^{なおすけこう}は幼^{おきな}い頃^{ころ}から一^{いっ}生^{しょう}懸命^{けんめい}勉^{べん}強^{きやう}し、埋木^{うも}舎^{れぎのや}に住^すんだ17歳^{さい}から32歳^{さい}まで、文^{ぶん}武^ぶ両道^{りやうどう}にわたる修^{しゆ}行^{ぎやう}をつ
みま^みした。そし^そて、大老^{たいらう}とい^{たい}つ^{せつ}大^{だい}切^{せつ}な職^{しやく}につ^ないだ直弼公^{なおすけこう}は、外^{がい}国^{こく}と仲^{なか}良^よくし、外^{がい}国^{こく}の進^{すす}んだ文^{ぶん}明^{めい}を取^とり入^いれるこ
とに一^{いっ}生^{しょう}懸命^{けんめい}尽^{じん}く^くしました。
彦根市^{ひこねし}では、これ^ちから^{きゆう}の地^{しやう}球^{らい}や将^{ひこね}来^{かんが}の彦根^{ゆた}のこ^{みらい}を考^{かんが}えて豊^{ゆた}かな未^み来^{らい}をつ^{つく}って^つい^く人^{じん}づ^くり（持^じ続^{ぞく}発^{はつ}展^{てん}教^{きやう}育^{いく}
= ESD）に取^とり組^くん^ぐん^ぐで^でい^いま^ます^すが、直弼公^{なおすけこう}は、江^え戸^ど時^じ代^{だい}にす^すで^でに^にそ^そう^うな見^み方^{かた}や考^{かんが}え^{かた}方^{かた}をも^もつ^つて^てい^いた人^{じん}物^{ぶつ}だ^だと
言^いえ^える^るで^でし^しょう^う。